広島大学短期交換留学プログラム　派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

		記入日/Date	2025 年 7 月 23 日
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	人間社会科学	学部/研究科 School/Graduate School	1　年次(Year) （留学開始時点(When Started)）
派遣プログラム Name of Program	■HUSA　□USAC		
留学先大学 Host University	トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学	（国名/Country：フランス　）	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	DEFLE (Département d'Études du Français Langue Étrangère)		
在籍身分 Status at Host University	交換留学生 (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)		
留学期間 Period of Program	2024 年 9 月 2 日 (YYYY /MM/ DD)	～	2025 年 6 月 25 日 (YYYY /MM/ DD)

１．留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	語学留学をしたかったため。トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学に留学した方から紹介されたため。
留学準備を始めた時期（応募する何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	応募する半年前。応募資格の目安となる仏検３級を受験した。
事前準備について（どのような準備をしたか，しておけばよかったか） Preparation Completed Prior to Study Abroad	トゥールーズに留学された方との連絡をとり、フランスでの生活（例えば、公共交通機関、保険等への加入手続き、データ通信の契約方法など）についてお話を伺った。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type：学生ビザ	
	ビザ申請先 / Location of Visa Application：在日フランス大使館	
	提出書類 / Required Documents：申込書、パスポート、証明写真、入学許可証、銀行口座の残高証明（英字）等（詳細は大使館 HP で）。	
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process：２ヶ月	
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	ビザ申請のためには、在日フランス大使館に行く前にオンラインで予約を取る必要がある。大学の寮に住む場合、入寮手続きの準備が必要。	
出国年月日/ Date of Departure	2024 年 9 月 2 日 (YYYY /MM/ DD)	
経路（往路）/ Route (Outward)	羽田空港 → パリ＝シャルル・ド・ゴール空港 → ブラニャック空港	
現地での出迎え Pick-up Service	□有/Yes（大学関係者/Univ. Staff　・　その他/Others） ■無/No	
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	■有/Yes □無/No	有の場合　期間/Period：　9 月 2 日　-　9 月 12 日 (If Yes)　内容/ Indicate Content Covered during Orientation

Orientation, Period, Contents		大学についての説明と履修するフランス語講座の説明
帰国年月日 / Date of Return	2025 年 6 月 26 日 (YYYY /MM/ DD)	
経路（復路） / Route (Return)	ブラニャック空港 → パリ＝シャルル・ド・ゴール空港 → 羽田空港	

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount		1,570,000	円/yen
	内訳 Details	渡航費（往復）/ Flight Ticket (Round Trip)	250,000	円/yen
		ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	20,000	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
		保険料 / Travel Insurance	100,000	円/yen
		教材費（授業料以外の学費）/ Learning Material (Extra Tuition Fee)	0	円/yen
		宿舎費（住居費）/ Accommodation Fee	440,000	円/yen
		光熱費 / Utility Cost	0	円/yen
		食費 / Meal Cost	400,000	円/yen
		通信費（インターネット・携帯）/ Internet, Phone	30,000	円/yen
		交通費（宿舎ー大学間）/ Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	30,000	円/yen
		交際費 / Social Expenses	100,000	円/yen
		その他 / Others（ 雑費） （ 費） （ 費）	200,000	円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム，プログラム，履修した科目，時間数，履修形態等） / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	口頭表現（週４時間）、記述表現（週４時間）、発音（週２時間）、口頭・記述理解（週４時間）、フランス文化（週２時間）に関する授業。 スポーツとしての筋トレの授業（週１回、２時間程度、自由参加）
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	□有/Yes ■無/No
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修，留学中，単位取得等）/ Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	履修登録についてはASK（Arriving Student Desk）に行くと、サポートを受けることができる。留学中は、日本語を勉強しているフランス人や、同じクラスの人と交流を深めるとよいかと思います。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）/ Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	授業中にわからないことがあれば、どのタイミングでも基本的に問題なく、先生や近くの学生に尋ねることができる。先生や他の学生との関係性を築くためには、沈黙するよりも、何かを伝えようとすることが大切だと感じた。授業は遅れて始まることがあるため、他の学生と連絡を取り合うとよい。

5. 生活等について / Lifestyle

（1）留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	■大学の寮 / University Dormitory　□アパート / Apartment □その他 / Others（　　　　）		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately ９ ㎡	同居人の有無 Roommate(s)?	□有 / Yes（　　人/People） ■無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	■電気/ Electricity □ガス/ Gas ■水道/ Water ■給湯/ Hot Water ■シャワー/ Shower □風呂/ Bathtub ■水洗便所/ Flushable Toilet ■暖房/ Heating □冷房/ Cooling ■台所/ Kitchen □食堂/ Dining Room □固定電話/ Land-Line Phone ■インターネット/ Internet □その他/ Others（　　　　）		
住居費 Accommodation Fee	１ヶ月当たり/ per month　261€(現地通貨/ local currency)		約/ approximately 44,000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	寮には冷房がないため、夏に過ごす場合は、暑さ対策をしておくことが望ましい。		

（2）医療について / Medical Care

保険の加入先 Insurance (Who Designated)	■本学指定の保険 / Hiroshima University　□留学先大学指定の保険 / Host University □その他 / Others（　　　　）
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage　死亡 / Death　　円 / yen, 入院１日 / per day of Hospitalization　　円 / yen その他 / Others（　　　　）
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	□有 / Yes （種類 /Acquired Immunizations：　　, 医療機関名 / Location of Immunization：　　） ■無 / No
留学先国の医療事情 （日本と比較して） Difference in Medical Service (Compared to Japan)	街には薬局が多くある。病院を探すときには、Doctolib というオンラインのサービスを使うことをおすすめされました。
留学先での健康管理，衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	喉や皮膚が乾燥しやすかったため、日本にいるときよりも気を配った。

（3）危険を感じた地域，状況，安全管理において注意したこと
/ Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management

特に危険を感じる地域はなかったが、大学の周り等、一部危険な地域はあると他の学生から聞いた。夜中に一人で出歩くことは避けたほうがよい。特にメトロでは、貴重品や携帯を取られないように、カバンの中にしまい、身につけておくことが望ましい。

（4）食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice

基本的にフランスの外食は高いため、自炊をすることがおすすめ。スーパーよっては、お米、醤油等が一通り揃えてある。

（5）気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing

気温は日本と大きく変わらない。トゥールーズは、季節によっては、強い風が吹くため、注意が必要。

（6）学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）
/ Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)

大学と寮ではWi-Fi が使える。ただし、到着後すぐにパスワードが手に入るわけではないため、別途データ通信の手段を準備しておくことが望ましい。大学には、学食やカフェテリアがあり、学生証を提示することで割引がある。日用品や食料品は、街にあるスーパーで手に入る。本屋に関しては、中心地にOmbres Blanches という大きな本屋があり、置いていない本でも取り寄せてもらうことができる。大学内だけでなく、街にも図書館がある。

（7）現地学生や地域との交流について（どのような，機会・きっかけがありましたか？）
/ Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)

日本語学科の授業に参加することをきっかけに、日本語を学ぶフランスの学生と交流する機会ができた。他にも、トゥールーズ・日本協会の交流会にて日本語を学ぶフランス人と会話をしたり、トゥールーズにある日本語補習校の幼稚園や小学校・中学校のクラスでボランティアをしたりする機会を得た。

（8）習慣やマナーの違いによる対人関係等，注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners

スーパーやバス等では、出入りの際に挨拶をすること。誰かに話しかけるときも同様、しっかりと挨拶をすることが望ましい。

（9）日本から持っていくべきもの，持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?

クレジットカード（Visa, Mastercard）は、使えなくなったときのことを考慮して、２枚以上あるとよい。
消耗品、日用品、服は、現地で手に入るため、過度に持っていく必要はない。

（10）その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad

市場やお店によっては、カードが使えないことがあるため、ある程度の現金をもっておくとよい。

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2027 年 / year 3 月 / month （当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 年 / year 月 / month）
卒業が遅れる見込みの場合，その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	□４年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year □単位不足のため / Amount of Credits □新卒で卒業するため / In order to graduate as a “new” graduate □その他 / Others（具体的に / Specific reason: ）

現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	博士論文執筆のために研究を進めている。
就職活動や留学前の単位取得，教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	チューターの先生や指導教員の方と連絡を取り、卒業・修了までの計画について相談しておくとよい。

7. 留学準備，留学中に役立った書籍，ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍，サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社，URL 等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
地球の歩き方　フランス	Gakken	フランスに関する情報を幅広く知ることができる。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

トゥールーズは、住みやすくてとてもよいところです。街を歩いていると、さまざまに景色が広がり、多くの出会いがあります。生活に慣れるまでは大変かと思いますが、それも含めて留学生活はよい経験になると思います。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度）/ Feedback (English about 600 words)

国外渡航・滞在をほとんど経験したことがなく、ヨーロッパに行くことも初めてだったため、留学当初は驚きと戸惑いの連続であった。実際にフランスで生活をする中で、少しずつ身体が馴染んでいくことで、次第に精神的な緊張もとけていき、様々な物事に目を向けることができるようになっていった。

留学期間中に、印象に残ったことは、日本から来た学生以外の受講生の授業の受け方である。よく言われることではあるが、日本人以外の学生は、先生の話に対して逐一応答し、わからないことがあればその都度質問をしており、細かい文法や発音に目を向けるのではなく、伝えたいことの方を大切にして、言葉を尽くしていた。先生や他の学生も、まずは相手が言いたいことを理解しようと努め、その後に、より伝わりやすい適切な表現になるよう指摘していた。フランス語の授業以外の、他の学科の授業を受けに行ったときには、先生の話を聞く中で質問がある学生は、話の途中であっても挙手をし、質問の機会をつくっていた。相手や場の雰囲気に合わせて、自らのあり方を決めるだけではなく、授業内容のわからなさから言葉を発して表現することの重要性を学ぶ機会となった。授業以外においては、日本にいるときのように、表情や身体動作のみの表現だと誤解されることが多く、言葉によってコミュニケーションを取ることの必要性を感じることが多かった。また、曖昧な応答や、はっきりと断らないことによって、お互いのコミュニケーションに齟齬が生じる場面もあった。

このような経験をふまえて、留学前と比較して変わった点は、場の雰囲気に合わせて、その場を壊さないように自分自身のあり方を変えるだけでなく、自分自身を通して浮かび上がってきた感情やわからなさを、言葉や身体等によってどうにか表現しようとする姿勢であるように思う。日本にいるときには、ある程度文脈を共有している場面が多かったため、言葉によってほとんど何も表現しなくても、ふとした動作や視線、表情によって、お互いの伝えたいことや言いたいことを察することができていた。しかし、文脈を共有している程度を把握する足場がない場合には、コミュニケーションをとりながら少しずつお互いの前提を確認しなければ、相手の言葉や身体動作がどのようなことを伝えようとしているのか、見当がつかない。留学での経験を通じて、相手とコミュニケーションをとるときに、自分自身が寄りかかっていた前提がなくなることで、自分自身の弱みが顕在化し、その弱みを意識することによって、自分自身のコミュケーションの仕方に少し変化が生じたように思う。

今回の留学では、日本語以外の言語で、表現する機会や、考える機会を得た。この経験をふまえて、今後は、日本（語）において、何かを表現するときに、どのようなことを暗黙の前提にしているかを問題にして、フランス（語）の文脈などの異なる視点から映し出すことによって、表現しようとしていること自体を深めていければと思う。

ガロンヌ川周辺（夕方と昼）↓　　　中心部にある市庁舎→